

エコアクション21 環境活動レポート

運用期間 2017年9月～2018年8月



株式会社 カネミツ

2018年10月発行

目 次

1 事業概要	1 p
2 許可内容	2 p
3 環境方針	3 p
4 実施体制	4 p
5 環境目標	5 p
6 環境活動計画	6 p
7 環境目標の実績	7 p
8 環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容	8 p
9 環境関連法規	9 p
10 代表者による総合評価と見直し	10 p

1.事業概要

1 事業所名

株式会社カネミツ

2 代表者名

代表取締役 金光照男

3 所在地

山口県宇部市港町1丁目6番21号

電話 0836-21-5691 fax 0836-33-4655

4 環境管理責任者及び担当者氏名・連絡先

環境管理責任者 金光 優稀 0836-21-5691

5 会社沿革

1997年2月3日 有限会社 カネミツ 法人設立

2012年2月1日 株式会社 カネミツ 商号変更による設立

2013年5月15日 資本金を1,000万円に増資

6 事業の内容

鉄・非鉄金属資源のリサイクル業(仕入及び販売)

7 事業規模

資本金	1,000万円	
従業員数	14名	
売上高	1,855百万円	(2017年9月～2018年8月)
出荷量	10,594t	(2017年9月～2018年8月)
敷地面積	1,371㎡	

8 車両・設備

大型トラック	3台	2tトラック	1台
軽四	1台	普通車	3台
ユンボ	2台	フォークリフト	3台
プレス機	1基	シャーリング	2基
剥線機	1基	ナゲット	1基
金属分析器	1台		

9 認証・登録の範囲(テナントビル部門を除く全組織・全活動)

(1) 対象事業所	金属リサイクル業部門
対象活動	鉄・非鉄金属の買取および販売

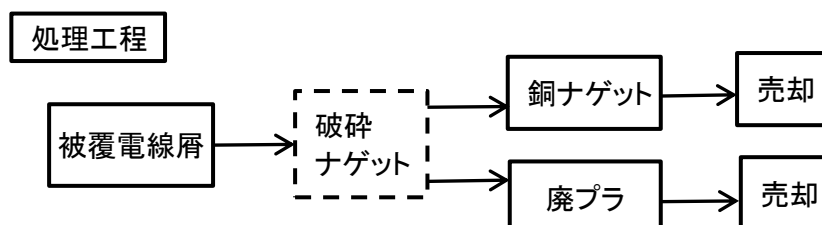
2.許可内容

産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号	第03516080129号
許可年月日	2016年10月17日
有効年月日	2021年10月16日
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・ 陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、がれき類 (これらは石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上8種類
運搬実績	2,372kg (2018年度実績)
積替え保管場所	所在地 山口県宇部市港町1丁目6番3、6番4、6番5 面積 260㎡ 種類 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く) ・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、がれき類 保管上限 13㎡ 高さ 屋内保管

産業廃棄物処分業許可証

許可番号	第03526080129号
許可年月日	2015年3月3日
有効年月日	2020年3月2日
事業の区分	中間処理(破砕)
産業廃棄物の種類	破砕:廃プラスチック類、金属くず、(自動車等破砕物を除く。以上2種類) (特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上2種類
処理実績	19,312kg (2018年度実績)
事業用施設	破砕 設置場所 山口県宇部市港町1丁目6番7号 設置年月日 1996年5月15日 処理能力 0.8t/日(8時間) 処理方式 ナゲット処理



3.環境方針

基本理念

国内の産業・経済の発展とともに、また発展途上国のさらなる発展に伴い、金属資源の需要もますます増大して
います。当社は、限りある金属資源のリサイクル活動を通じ、省エネルギーかつ資源の有効利用の循環型エネ
ルギー社会をめざし、社会貢献できるよう事業活動をおこないます。

行動指針

省エネルギーに基づき、必要な環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の低減を推進します。
また継続的にこれらを行うために環境目標及び活動計画を以下に定め 定期的な見直しを実施します

1. 二酸化炭素排出削減

- 使用エネルギー（電気、化石燃料）の削減に努めます。
- ・収集運搬車の効率的な配車・運行に取り組みます。
- ・重機機材・作業機材の効率的な使用に取り組みます。
- ・事務所内の不要電気の排除に取り組みます。

2. 廃棄物の削減

- ・産業廃棄物の適正処理をおこないます。
- ・産業廃棄物の徹底した分別を行い、更なる有価物化に努めます。

3. 水使用量の削減

- ・節水に努め、水使用量の削減に取り組みます。

4. グリーン購入を積極的に推進します。

5. リサイクル品の量的拡大を図ります。

6. 事業活動に関連する環境関連法規等を遵守いたします。

7. この環境方針は、社員全員に周知するとともに、社外へ公表します。

2013年10月21日

株式会社 カネミツ

代表取締役 金光 照男

4.EA21実施体制



5.環境目標

環境目標		単位	基準年度	目標		
			2011/9- 2112/8	2017/9- 2018/8	2018/9- 2019/8	2019/9- 2020/8
1	二酸化炭素排出量 /出荷額 の削減	kg-CO2/ 百万円	155.7	147.92以下 5%	147.92以下 5%	147.92以下 5%
	電力使用量 /出荷額 の削減	kwh/百万円	54.3	51.58以下 5%	51.58以下 5%	51.58以下 5%
	ガソリン使用量 /出荷額 の削減	ℓ/百万円	3.27	3.10以下 5%	3.10以下 5%	3.10以下 5%
	軽油使用量(車両) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	40.9	38.85以下 5%	38.85以下 5%	38.85以下 5%
	軽油使用量(重機) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	14.86	14.11以下 5%	14.11以下 5%	14.11以下 5%
2	使用水量/出荷額 の削減	m ³ /百万円	0.71	0.67以下 5%	0.67以下 5%	0.67以下 5%
3	廃棄物総排出量 /出荷額 の削減	kg/百万円	0.26	0.23以下 5%	0.23以下 5%	0.23以下 5%
4	鉄・非鉄金属の仕入額 の増加	百万円	1152	1209.60以上 5%	1209.60以上 5%	1209.60以上 5%

注1. 電気使用量の排出係数は、中国電力の2018年度の0.691 (CO2 kg/KWh)を使用した。

注2. PRTR対象化学物質を使用していないので、化学物質使用量の削減目標は掲げません。

注3. グリーン購入は定着したので「グリーン購入に係る目標」を掲げず、購入の都度、配慮します。

6.環境活動計画

目標項目	取 組
電力使用量の削減	エアコン温度設定(夏28℃冬20℃)
	不要電燈をこまめに消灯
	省エネ家電(パソコン・コピー機)推進
ガソリン使用量の削減	急加速しない
	タイヤ空気圧チェック
	エンジンブレーキの多用
	アイドリングストップ
	エアコンの使用を控える
軽油(車両)使用量の削減	急加速しない
	タイヤ空気圧チェック
	エンジンブレーキの多用
	アイドリングストップ
	作業中のエンジンストップ
	エアコンの使用を控える
軽油(重機)使用量の削減	重機から長時間離れるときエンジンオフ
	不要な機械の電源をオフ
	エアコン設定温度を決め実行
水使用量の削減	洗車時の節水
	日常の節水
	水漏れ確認
廃棄物総排出量の削減	使用済み紙の裏面利用
	ペーパーレス化への取組
	生ごみ減量への取組
鉄・非鉄金属の仕入量の増加	新規取引先の開拓
	情報収集の強化

7.環境目標の実績

環境目標	単位	2011/9～ 2012年/8月 (基準年度)	2017/9-2018/8月		判定
			目標	実績	
(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	206037	—	148723	
二酸化炭素排出量 /出荷額 の削減	kg-CO2/ 百万円	155.7	147.92以下 5%	80.17	○
1 電力使用量 /出荷額 の削減	kwh/百万円	54.3	51.58以下 5%	27.12	○
2 ガソリン使用量 /出荷額 の削減	ℓ/百万円	3.27	3.10以下 5%	4.32	×
3 軽油使用量(車両) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	40.9	38.85以下 5%	13.30	○
4 軽油使用量(重機) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	14.86	14.11以下 5%	6.29	○
2 使用水量/出荷額 の削減	m ³ /百万円	0.71	0.67以下 5%	0.06	○
3 廃棄物総排出量 /出荷額 の削減	kg/百万円	0.26	0.23以下 5%	0.22	○
4 鉄・非鉄金属の仕入額 の増加	百万円	1,152	1209.6以上 5%	1,724	○

8.環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容

二酸化炭素排出量/出荷額 の削減： 目標達成

前年度比で出荷額は減少した一方で、産業廃棄物の排出量が増えたため、二酸化炭素排出量は増加したが、目標基準内に抑えることができた。

電力使用量/出荷額 の削減： 目標達成

電力使用量は前年度とほぼ同水準となった。
来年度以降もこの水準を維持したい。

ガソリン使用量/出荷額 の削減： 目標未達成

基準年度比でガソリン使用車(営業車、フォークリフト)が増えていることもあり、目標未達が続いている。設備更新のタイミングでハイブリッドやディーゼル等低燃費車を導入したい。

軽油使用量(車両)/出荷額 の削減： 目標達成

外注の活用もあり、車両の軽油使用量は大幅に削減を達成している。
今後も同水準を維持したい。

軽油使用量(重機)/出荷額 の削減： 目標達成

重機の軽油使用量は昨年度比で微減し、目標達成となった。
今後も同水準を維持したい。

使用水量/出荷額 の削減： 目標達成

使用水量は昨年より微増したが、目標達成となった。
ほぼ生活排水のみだが、今後も節水を意識して取り組みたい。

廃棄物総排出量/出荷額 の削減： 目標達成

一般廃棄物排出量については、昨年度より増加したが目標達成した。
今後も同水準を維持したい。

鉄・非鉄金属の仕入額の増加： 目標達成

仕入額は昨年度より減少したが、目標達成となった。
今後は利益率と工場内の在庫回転率を意識しながら仕入額も高めていきたい。

9.環境関連法規

環境関連法の遵守状況をチェックの結果過去3年間違反はありませんでした

尚 関係当局よりの違反の指摘 利害関係者からの訴訟等もありませんでした

10.代表者による総合評価と見直し

今年度の環境活動の結果については、前年度比で売上・仕入共に減少したが、2項目を除いて環境目標を達成することができた。

足元の状況を鑑みると、中国等で環境規制の強化が進められている影響を受け、廃プラスチックや家電雑品など、これまでは有価で販売できていたものが、荷受け停止や産業廃棄物として処理する必要があるケースが増えてきている。

ただし、これは今まで海外へ輸出することで不適切なりサイクル処理に目を瞑ってきた結果であるため、今後は適切なりサイクル処理が求められるように思われる。

当社としても、法令を遵守し、適切なりサイクル処理を通して、循環型社会への貢献をし、環境保全を推進していきたい。